

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：ピアレ横浜 スマイル保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：山本 志津子	定員（利用人数）： 45(47) 名	
所在地：横浜市金沢区並木2-13-2	ピアレヨコハマ新館 2階	
TEL：045-701-2539	ホームページ： https://www.smile-hoikuen.yokohama/viale	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2009年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 スマイル保育園		
職員数	常勤職員： 13人 非常勤職員： 12人	
専門職員	保育士：園長 1人 栄養士：1人、管理栄養士：1人	
	保育士：主任、副主任 2人 調理員： 4人	
	保育士：16人	
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)	
	0～2歳児室 1室 3～5歳児室 1室 調理室 1室 トイレ 1室 事務室 1室 職員休憩室（更衣室）1室	建物の構造：鉄骨造り 3階建ての2階部分 保育室床面積：149.03㎡ 園庭： 63.7㎡ 別途 スマイルファーム

③ 理念・基本方針

【保育理念】

- 子どもたちに、潜在能力を最大限に発揮できる力を。
- 家庭に、子どもの成長の喜びを。
- 地域に、児童福祉の向上を。

【基本方針】

- 子どもたちの心と体の健康に良い環境を作ります。
- 社会のルールと子どもの個性の双方を大切に、一人ひとり丁寧に対応します。
- 美味しく、安全な手作りの食事を提供します。
- 保育に関する要望や相談に真摯に対応し、信頼されるように心がけます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

ピアレ横浜スマイル保育園は、株式会社スマイル保育園が運営する、平成21年4月に設立の保育園です。金沢シーサイドライン並木中央駅と幸浦駅から徒歩10分の大規模な集合住宅地の中心部分にある商業施設の中に設置されています。

園舎は商業施設の2階で、園の入り口には園庭とスマイルファーム（菜園）があります。0歳児～5歳児まで定員45名のところ、現在47名が在籍しています。

近隣には大規模な長浜公園をはじめ、自然に恵まれた公園や、イド藻公園や干綱公園等中小様々な公園や緑道があり、子どもたちの散歩コースになっています。また、歩いて20分ほどの京急富岡のすぐ近くに系列園とみおかスマイル保育園があります。

【園の特徴】

園舎はワンフロアで、0～2歳児と3～5歳児の2クラスで異年齢児保育を行っています。子どもたちは、大勢のきょうだいができたような環境の中で異年齢での関わりを楽しんでいます。職員は担当以外の子どももよく知り、皆で育てる家庭的な保育を目指しています。

「ヒップホップ」「英語で遊ぼう」「体操教室」「数遊び」「書道教室」等の外部の専門家による課題保育を取り入れています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年4月1日（契約日）～ 2022年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2016年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 異年齢の子どもたちが園生活を楽しめる工夫

異年齢の子どもが自然に関わり、みんなと一緒に遊んだり、年少の友だちに教えたりする中で、年長児を見て挑戦しようとしたり、思いやりの気持ちを持っています。ラジオ体操を年長児に負けないように頑張ったり、散歩では、子どもたちは自然に触れながら友だちと一緒に探索活動を楽しんでいます。園庭のスマイルファームでは、年長児を中心に季節ごとの野菜を育て、収穫を喜び合い、みんなで食べる楽しさを味わっています。

また、年間を通して季節ごとの行事があり、子どもたちはお花見パーティー、七夕まつり、お月見、芋煮会やハロウィンパーティ、お餅つき等を一緒に楽しんでいます。

職員は、乳児クラス会議や幼児クラス会議で遊びや行事の振り返りをして、子どもがいろいろな場面で楽しめるように工夫をしています。

2. 保護者の要望や思いに耳を傾け、安心して子育てができる支援

園では、保護者が安心して子育てできる関係づくりを大切にしています。毎月の園だより、クラスだよりには子どもたちの園での生活を写真で伝え、送迎時には、コロナ禍で室内に入室できなくなったので、必ず1階入り口まで職員が出て保護者と会話をし、日々の子どもの様子や成長の様子を伝えています。

保護者会役員会で保護者の意見や要望を聞き、話し合いをして行事等の取組に生かしています。行事後の感想やアンケート、年度末のアンケート等で保護者から意見や要望を収集し、保育内容や保護者との交流等について改善を図るよう努めています。令和3年度は、「保護者からの質問・回答」「ヒヤリハット通信」を掲示して、さらなる安心・安全な保育に向けた取組をしています。

3. 地域とのつながりを大切にし、連携を図ろうと努力

園が設置されている地域は子育て支援に熱心であり、地区内にある「子育てしやすい地域づくり事業実行委員会（エンジョイ委員会）」の懇談会に参加し、子育て中の養育者から保育ニーズの把握に努めています。実行委員会を通して、例年は、園の育児講座やどうぶつ村、一時保育等の子育ての情報発信をしています。

園の運営に関しては、運営委員会があり、地域内に住んでいる第三者委員も加わり、地域のニーズの把握をする機会となっています。

例年(コロナ禍前)は、子どもが地域内の高齢者施設と交流を図り、散歩中には地域の多くの方に声をかけてもらっています。納涼会や運動会等の園行事に地域の方を招待しています。商業施設での合同防災訓練に全園児が参加しています。

◇改善を求められる点

1. 子どもの発想を受け止めて、遊びが発展するような取組を

子どもたちは、室内や園庭でごっこ遊びを楽しんでいます。絵本からごっこ遊びにつながることもあります。そうした子どもの発想を受け止めて、子どもたちで相談して取り組み、お店屋さんごっこに発展したり、劇遊びに発展するような取組をさらに深めることが期待されます。

制作は、テーマや作り方の決まった貼り絵をしたり、机上で折り紙や粘土、お絵かきをしています。また、いろいろな素材を用いて、自由に制作をしていますが、さらに作り上げる喜びが育つ環境づくりが期待されます。

2. 子どもの姿や育ちを捉えた指導計画の作成を

園の3～5歳児の年間指導計画と、月間指導計画・週案は、一部子どもの姿や発達過程をベースにした指導計画となっているものの、異年齢児保育のため3・4・5歳児として一括した指導計画となっています。3歳児、4歳児、5歳児のそれぞれの発達の特徴をおさえ、子どもの姿や育ちを捉え、より明確な年齢ごとの保育のねらいや内容をもった指導を行う為に、保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をテーマに園内研修で検討したことを生かし、職員間で子どもの育ちの理解をさらに深め、実践することが期待されます。

3. 職員と共に、実施状況を確認できる事業計画の作成を

中期事業計画は、目標や具体的な実施事項を明記していますが、全体としての進捗状況を確認することができません。個別に評価しているものを全体として見える工夫も望めます。また、評価した結果を課題として翌年に入れ、職員に見えるかたちで作成されていません。

実施事項の明記だけでなく、進捗状況を記載して、職員と共に確認し合える事業計画の作成が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けて

コロナ感染拡大の中でしたが、第3回目の第三者評価を受審できました。開園して14年が過ぎ、ピアレ横浜スマイル保育園も地域の方に知っていただけるようになりました。

今回の受審によって、若い職員と経験を重ねている職員との自己評価表の項目に沿っての理解度が顕著に出ていました。若い職員には、職員への自己評価結果表説明会で分かったことの内容が増えた事、わからない事については指導ができた事。とても良かったと思います。

近い将来子どもは減り、保育の継続性を考えると、柱となる人材確保はもちろん保育の質を高めるための人材育成する事の重大さを感じました。その為に考えられる一つは、研修の充実は大切であるが、自ら学びたい課題を見つけて自己啓発をする、それを保育園として応援していきたいと思います。

保護者には、指針に書かれているように、「保護者が子どもの成長に気づき子育ての喜びを感じられるように努める」保育園としては、日常の保育、子どもの様子等の見える化を計ります。ITの活用もその一つです。

又、ナルクさんの園内観察から、“職員が乳児との関わりがとても丁寧に接している”とのお話を頂き、これからは、育児の苦手な保護者が増えてくると考えられますので、育ちの基本になるこの時期を、改めて深く認識をしていきます。これからは、第三者評価を受ける事によって見つけた課題を、職員で話し合い知識や技術の習得に向けて研鑽し保育の質を高めていきます。

調査員のみなさまには、ご丁寧に細かく評価をしていただき有り難うございました。

ピアレ横浜スマイル保育園
山本志津子

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり